

何を使う

機器 ①スマートフォンまたはタブレット ②大型テレビ等

ソフトウェア（アプリ）

Zoom



それをどう使う（それで何ができる）

- ・学校に訪問してもらわずに、外部講師による授業を行うことができる。
- ・授業を受けている生徒全員がモニターをシェアリングできる。
- ・リアルタイムでの授業を行うことができる。
- ・授業を記録することで、振り返りを行うことができる。

ここが変わる、活用メリット【ICT 活用 Before-After】

高校 情報「ビジネスアイデアに関する外部講師講演会」

【 Before 】

- 教科書や資料集、インターネットで情報を収集する。
- 話を聞くだけの講話になりやすい。

【 After 】 **メリット**

- ビジネスプラン作成についての基礎などを対話的に学ぶことができる。
- 講師や生徒同士のやりとりが簡単にできる講演会であるため、主体的な学びをより深めることができる。
- 生徒が質疑応答しやすい雰囲気や振り返る場面を簡単につくることができることから、リアルで正確な情報を収集できるため、より探究的な学びができる。

機器 (台数)	スマホ	タブレット	PC	その他	学習 場面	一 斉	個 別	協 働
	○	○	△	大型テレビ、接続ケーブル				
各1台ずつ、グループであればグループに1台					○			
授業実施時に必要な環境→				インターネット接続	○	1人1台端末		
活用が想定 される校種	小	中	高	特	活用が想定される教科・科目等			全ての教科等
	○	○	○	○	活用が想定される場面			講話等